

体験談

欧陽兪（台湾・国立政治大学）

この一年間はすごく楽しかったです。色んな人に出会えて色んな場所に行ってきました。この旅の始まりは去年の4月です。指導教授の誘いで研究室に入りました。今、思えば入って良かったです。前期の時、分からない事が山ほどありました。情報科学に関する基礎知識を学びながら、ゼミも参加しました。正直に言うと、大変でした。あの頃はなんで入ったのか、もっと楽な日々を過ごしたいなと思っていました。でも、気持ちを変えたきっかけは鹿児島で行われた人工知能学会でした。学会は初めてです。別世界でした。いろんな講演に行きました。今の技術でいろんなことができるなっすごいです。一番印象的な講演はフェイクニュースへの対策です。今は人工知能でフェイクニュースを作ることが簡単にできます。その時我々はどんな手段で判別するのか。さすがに人間が判別するのは難しいです。フェイクニュースを見破ることも人工知能ではできません。講演者がこう言っていました。これからはAI対AIの時代です。この言葉が心にグッと来ました。私はこの時代で何が出来るのか？何がしたいのか？気持ちが一遍に変わりました。

そのあと、教授とのミーティングが始まりました。自分がやりたいテーマを幾つか考えました。テーマはスパースコーディングを用いた脳活動データから音声情報へ

の変換です。簡単に説明すると、話ができない年配の人とか、事故や心理などの原因による発話障害者を対象者として脳活動データを得て分析することです。他の人はこの人達が思っていることを分かります。伊豆での合宿で着手報告を発表しました。

夏休みの時はずっとバイトをしてきました。暇な時間は台湾から来てくれた友達とあっちこちに旅行しました。

後期に入ったら、このテーマの難しさに痛感しました。先生に相談した後にテーマを変えました。音声情報から文字列に変更しました。10月くらいはずっとプログラムに苦戦して大変でした。12月の中間発表会に向かって全力疾走してきました。

中間発表会で研究について発表しました。やり切ったと思いました。終わった後に研究室の先輩たちと忘年会をしました。初めての忘年会なので、新鮮でした。居酒屋ではない、まさかのおしゃれなイタリアレストランにびっくりしました。

研究をやりながら11月の時に北海道に行きました。あの一週間で札幌を満喫しました。台湾の友達と現地で合流して私を含めて4人で遊びました。この一年間は本当に色々な場所に行ってきました。家族との旅、友達との旅行、もちろん一人旅もあります。毎回の旅はかけがえのない思い出です。

この一年間で大変勉強になりました。授業で学んだ知識だけではなく、どうやって発表するのか、資料作成についても学びました。これから、日本で学んだことを活用できるように精一杯頑張ります。どうもありがとうございました。



白糸の滝



札幌



アイス



鹿児島



日光